



総社吉備路ロータリークラブ

2023～2024年度 会長 佐野 重治  
幹事 河本 一平  
◆発行 : 会報・雑誌委員会

- 総社市駅前 1-6-4 3  
TEL:0866-93-5115 FAX:0866-93-3132  
E-mail:sojakibijirc@mx9.kct.ne.jp
- 創立 1987年(昭和62年)6月14日
- 例会場 国民宿舎 「サンロード吉備路」
- 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

本日のプログラム

青少年・ロータリー財団  
担当:津高青少年委員長

2023年11月14日

第1656回 例会  
(第3例会)

次回(11/21)の予定

新入会員卓話  
担当:青江会員

前回(11/2 第1655回)例会記録・総社RC合同例会

天気:晴

《会長挨拶》



【総社RC 児島塊太郎 会長】  
本日の例会は総社RCと総社吉備路RCとの合同例会です。久しぶりの合同例会です。楽しみに思っています。ようこそ出席頂きありがとうございます。  
今日は山陽新聞社代表取締役社長の松田正己様にお越し頂いております。ビジターの方もたくさんお越し頂いておりますので、ご紹介させていただきます。



【総社吉備路RC 佐野重治 会長】  
私は、全国紙を3紙と山陽新聞の計4紙を取っています。午前中は隅から隅まで読むのが日課です。山陽新聞に一番期待している記事は、「集い」という写真の欄です。私は、昭和35年に高校を卒業しましたが、集まりの度に、幹事が投稿してくれます。すると、その写真を見た同級生から、「おい、お前まだ元気にゴルフができるんか」といった電話が来ます。津高会員、高北会員の写真もありました。集いの写真の一人ひとりの顔を虫眼鏡で見ることが日課です。今後も、山陽新聞の記事には期待しています。

★前回(11/2)のプログラム★-デジタル社会を「紡ぎ、結び、編む。」-  
山陽新聞社代表取締役社長 松田正己 様



ゲスト・ビジター:

- 山陽新聞社代表取締役社長 松田正己 様 (岡山西RC)
- 山陽新聞社 社長室秘書部 安部 晃将 様
- 福嶋 裕美子 様 (岡山西RC 会長)
- 末吉 誠一 様 (岡山西RC)
- 小原 範夫 様 (岡山西RC)
- 片山 彰造 様 (児島東RC)
- 安井 元子 様 (備前RC)

○出席報告 -前回(11/2) 例会-

会員数	免除者	出席者	出席率	訂正分(8/29)
31名	1名	18名	58.06%	なし

【11/5 総社市&高梁川流域クリーン作戦】  
今回は結構取れました。



「デジタル社会」を定義する

- ①インターネットやSNSを通じてあらゆる情報を自由に入手、共有、発信できる社会
- ②記録・蓄積された膨大な情報を人工知能(AI)等の先端技術で効果的に活用することで、創造的で活力ある発展が可能となる社会

→「モノ」や「サービス」のデジタル化が新たな事業価値を創出  
文化、産業、ライフスタイルが一変

2045年問題(singularity=転換期)

\*singularity(シンギュラリティー)とはAIが人間を超える能力を持つ転換期とされる  
→人工知能研究の世界的権威レイカーワイル博士(米田)が2005年に著書『Singularity Is Near』(転換期は近い)で「2045年に訪れる」と予測  
**AIの進化により人間の仕事が奪われる可能性も**

地域を紡ぎ、結び、編む。

- 山陽新聞の紙数5万号(昨年8月21日)に合わせて発表したキャッチフレーズ
- ①地域のあらゆる事業を取材し、記事や広告に込められる「**紡ぐ**」
  - ②信頼できる確かな情報を読者に届け、共通の輪を広げる一人一人、人と地域「**結ぶ**」
  - ③その媒体となる新聞(さんびん)を含むを得意にしたって仲間たち「**編む**」
- 一紙部6万号を迎える2050年時に社の中核を担30歳以下の中間、若手社員によるプロジェクトチーム(1-37)(14人)が考慮



予 定 表

11月・12月

月 日	行 事 内 容	備 考
11月14日(火)	青少年・ロータリー財団 担当/津高青少年委員長	
11月21日(火)	新会員卓話 担当/青江会員	
11月28日(火)	休会	
12月5日(火)	年次総会	
12月12日(火)	疾病予防と治療月間	